

『原価計算研究』

＜注意事項＞(2023年2月14日改訂)

- (1) 『原価計算研究』への投稿にあたっては、必ずこのフォーマットを使用してください。なお、本注意事項の頁と次の頁からの各種指示文章は投稿の際には削除してください。
- (2) 1頁目に、日本語による主題、副題(あれば)、筆者名、要旨、キーワード、英語によるタイトル、サブタイトル(あれば)、筆者名、要旨、キーワードを記述し、2頁目より本文文章等を記述してください。但し、投稿時は筆者名、所属を空欄にしてください(日本語・英語表記とも)。
- (3) 2頁目以降の提出論文の標準原稿頁数は、本フォーマットを使用し、10頁まで、ただし執筆要項に示すやむをえない事情がある場合は12頁までは許容します。この頁数には、本文文章、図表、注、参考文献リスト、謝辞・付記が含まれます。*この注意事項の頁を削除すると、本文文章の開始頁の頁番号が1となります。
- (4) 本フォーマットは、42文字×40行=1,680字となっています。フォントは、日本語はMS明朝、英語はMS WordによるTimes New Romanとし、フォントの大きさは、本文(節・項・款のタイトルのフォントは以下の指示に従ってください)、注、参考文献リスト、謝辞・付記等すべて9ポイントとしてください。フォーマットを使用していても、この書式に従っていない場合は、フォーマットを使用していないものとします。
- (5) 図表は本文中の適切な箇所に入れてください。そのうえで図表の使用行数を表記してください。図表のフォントサイズは6ポイント以上としてください。
- (6) 1頁目の筆者所属は脚注機能を使用してください(投稿時には記載しないでください)。2頁目以降の注はWordの脚注機能を使用しないでください。
- (7) 2頁目以降には、筆者が特定できる表現は含めないでください。投稿時には謝辞・付記は論文本文に入れず、該当箇所に使用行数分のスペースを入れてください。

『原価計算研究』

中央揃え。

中央揃え・直前行は1行空ける。

主題 (16pt. ボールド体)

全角ダッシュ、半角スペースとする。

投稿時は筆者名を書かない。右揃え・直前・直後行は0.5行空ける。

第一筆者名^{*} (, 以下共著の場合共著者名[†]) (12pt.)

要旨 (←9pt.ボールド体)

キーワード（←9pt.ボールド体。↓5~10個程度。）

直前行は 0.5 行空ける。

□□□□□□□, □□□□□□□, □□□□□□□, □□□□□□□, □□□□□□□, (8pt.)
□□□□□□□, □□□□□□□, □□□□□□□, □□□□□□□, □□□□□□□

中央揃え・直前行は1行空ける。

- Title: (12pt. Bold)

• Subtitle(あれば)(9pt.Bold)

中央揃え。

投稿時は著者名を書かない。

右揃え・直前・直後行は0.5行空ける。

Summary (←9pt Bold)

直前行は 0.5 行空け

Key Words (\leftarrow 9pt,Bold↓ 5~10 個程度。)

□□□□□□□, □□□□□□□, □□□□□□□, □□□□□□□, □□□□□□□, (8pt.)
□□□□□□□, □□□□□□□, □□□□□□□, □□□□□□□, □□□□□□□

脚注を含め、1頁に
収めてください

投稿時は所属先を書かない。8ptとする。

20XX年X月X日受付
* ○○大学○○学部教授
† △△大学△△学部教授

20XX 年 X 月 X 日受獎
Professor, College of Economics, ○○ University
Professor, Faculty of Business Administration, △△ University

節の数字は全角、直後に1コマスペースを空ける。

I 節タイトル(14pt.ボールド体。節タイトルの直前は1行、直後は0.5行空ける。)

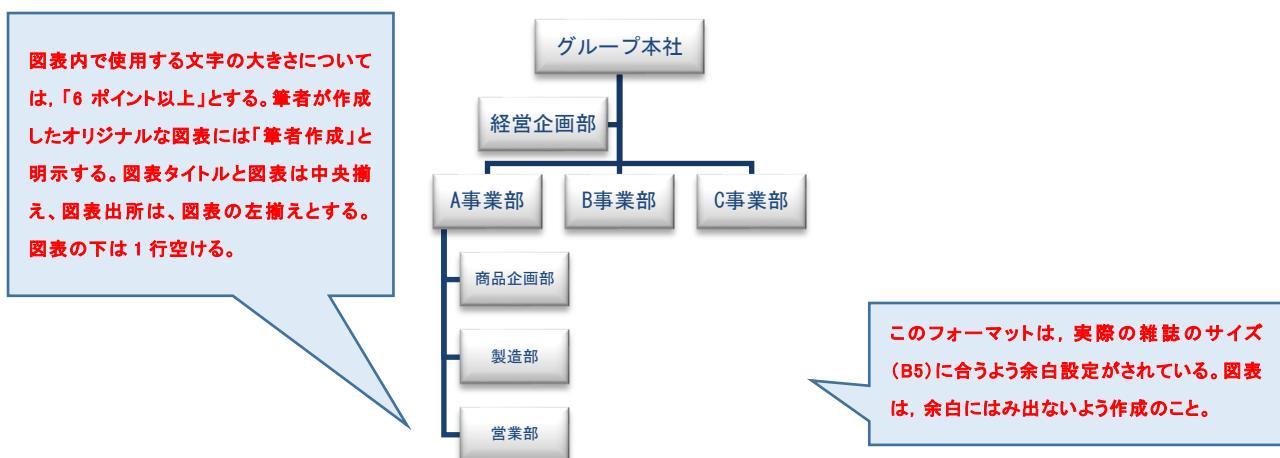
項の数字とピリオドは全角、直後にスペースは空けない。

1. 項タイトル(12pt. ボールド体。項タイトルの直前行は0.5行空ける。)

(1) 款タイトル(10.5pt. ボールド体。款タイトルの直前・直後行は空けない。)

款の数字と括弧は
半角、直後に1コマ
スペースを空ける。

図表1 組織図（15行使用）



(出所) 筆者作成

A large grid of 100 empty square boxes arranged in 10 rows and 10 columns. The boxes are white with black outlines, and they are evenly spaced both horizontally and vertically.

本文と謝辞の間は1行空ける

『原価計算研究』

(謝辞)使用行数 3 行

謝辭

謝辞

謝辞と注の間は1行空ける

(注)

A decorative horizontal border consisting of a repeating pattern of small, empty square boxes.

注と参考文献の間は1行空ける

【参考文献】

吉田良三. 1929. 「原価計算論」(増地庸治郎・吉田良三・太田哲三. 『経営経済学』改造社: 297-333).

Ittner, C. D., and D. F. Larcker. 1998a. Innovations in performance measurement: Trends and research implications. *Journal of Management Accounting Research* 10: 205-238.